

# 1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman "Easy Eight" (KOREAN WAR)

## 1/35 アメリカ中戦車M4A3E8シャーマン "イージーエイト"・朝鮮戦争

tasca

35-023 組立説明書

### 組み立てを始める前にお読みください



MORINAGA, YOH

この説明書は1/35 アメリカ中戦車M4A3E8シャーマン"イージーエイト" 35-023の組み立て説明書です。塗装とマーキングは別紙の塗装説明書に指示してあります。組み立てを始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

- このキットは2種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

### READ BEFORE BUILD

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

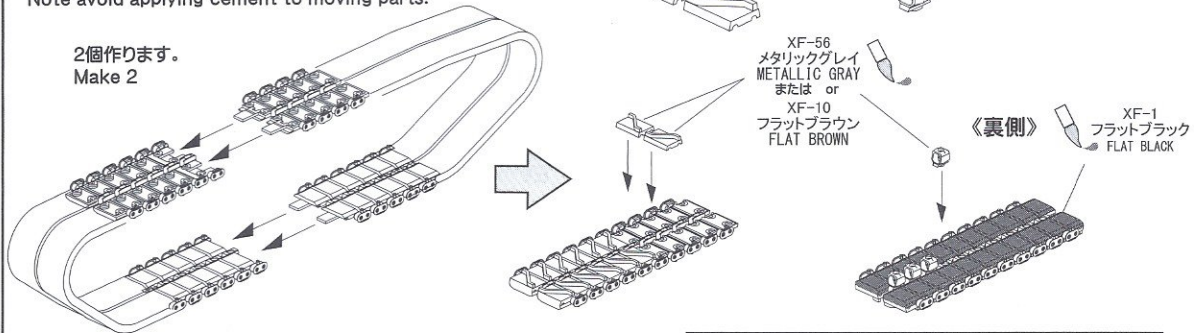
### Mark guide

- ⊗ Do not cement and attn moving.
- ! Pay attention.
- ? Choose type of vehicle.

取材協力:陸上自衛隊富士学校  
パッケージ原画:島村英二氏  
イラスト:モリナガ・ヨウ氏

### 1 キャタピラの組立 Track assembly

キャタピラはプラスチックモデル用接着剤で組み立てます。接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。Note avoid applying cement to moving parts.



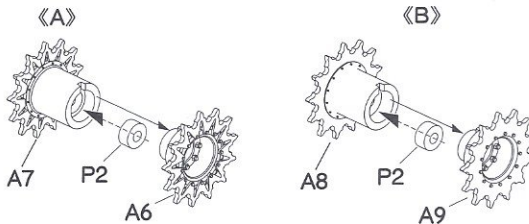
### 2 ドライブsprocketとアイドラーホイールの組立 Drive sprocket and idler wheel assembly

#### 《ドライブsprocket》 Drive sprocket

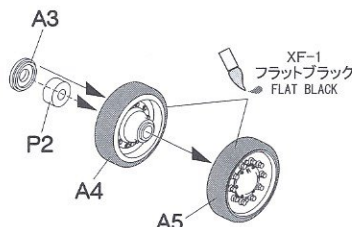
塗装例1 Ex.1 vehicle.

2個作ります。 Make 2

塗装例2はA、Bどちらか選びます。 Ex.2. use either option A or B

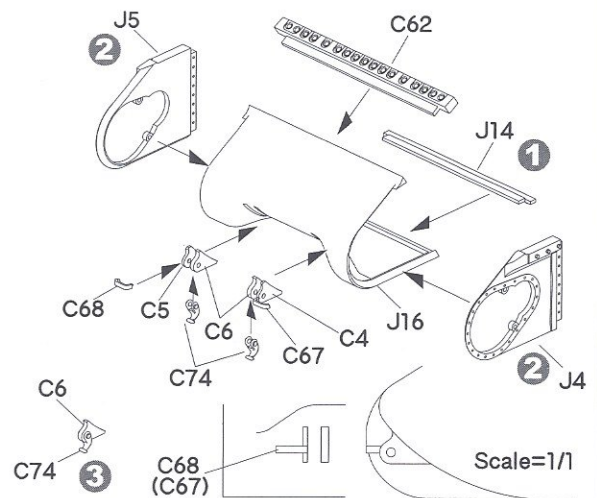


#### 《アイドラーホイール》 idler wheel 2個作ります。 Make 2



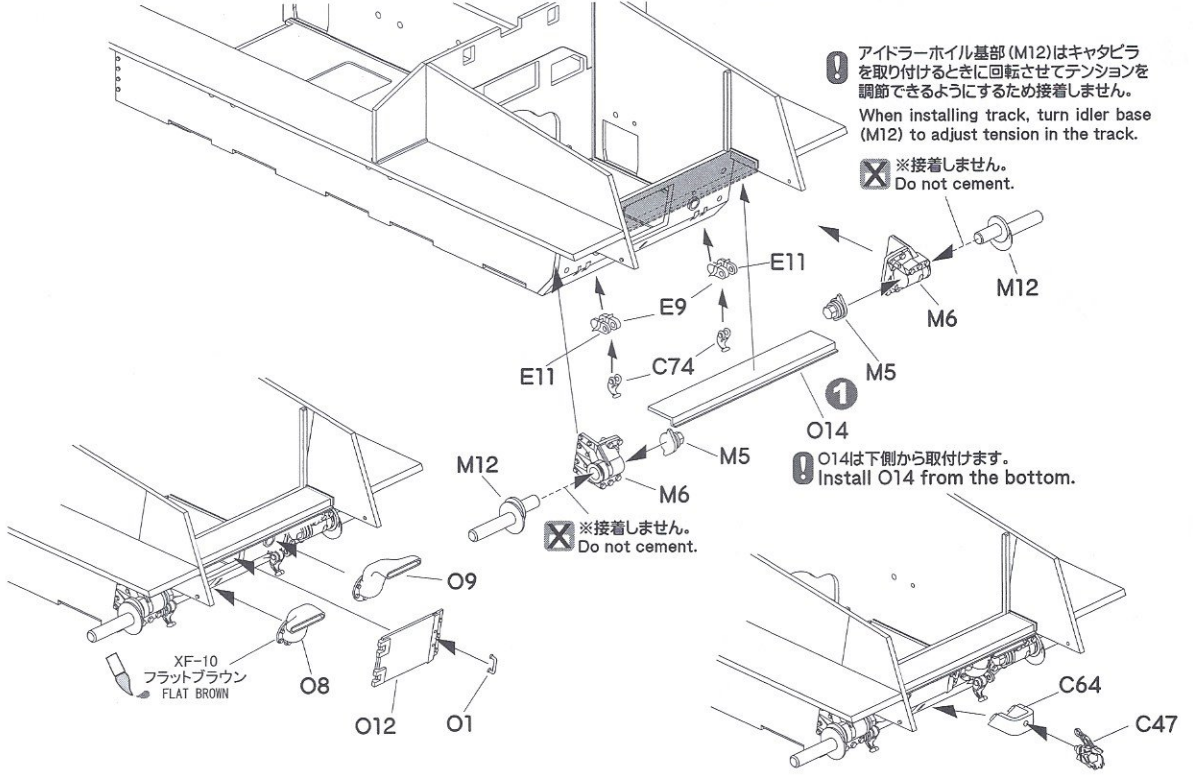
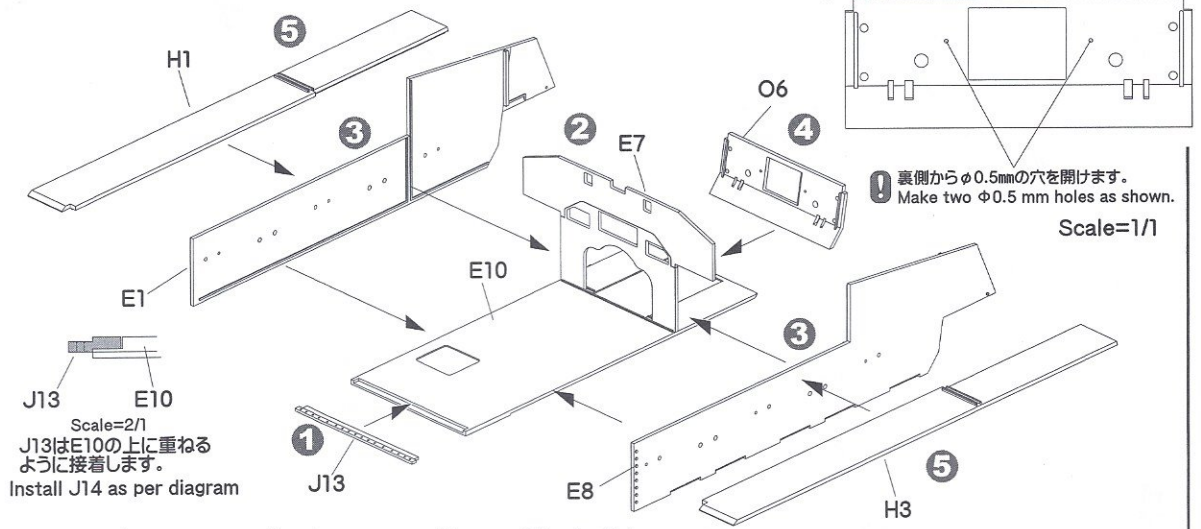
XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB  
組立途中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。  
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

### 3 テファレンシャルカバーの組立 Differential cover assembly



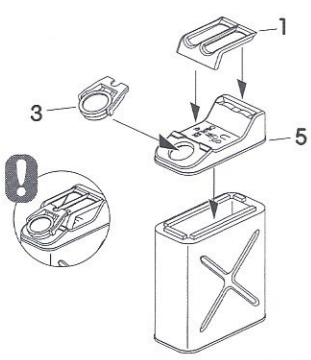
## 4 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から⑤の順番に組み立てます。各部件の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。  
部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。  
この工程は中断せず一度に組み立てて下さい。  
Assemble steps ① to ⑤ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

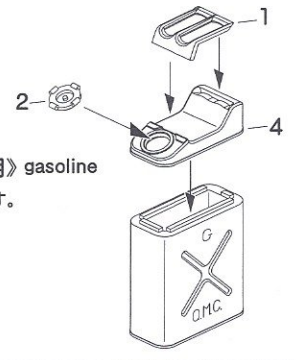


## ジェリカンの製作 Jerry can assembly

《水用》water  
2個作ります。  
Make 2



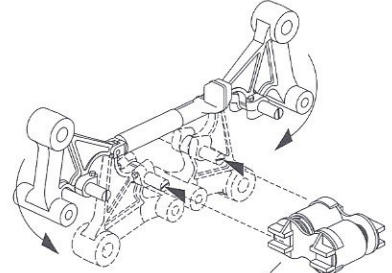
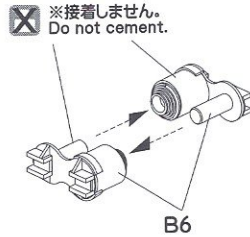
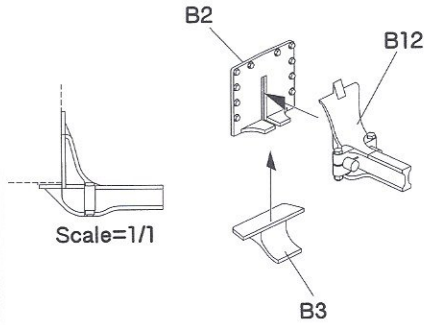
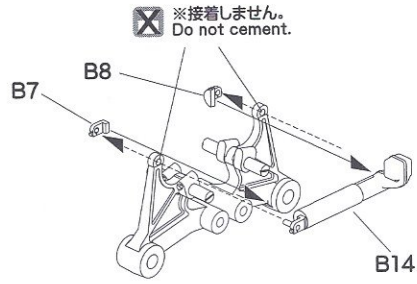
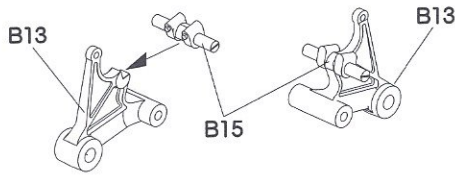
《ガソリン用》gasoline  
2個作ります。  
Make 2



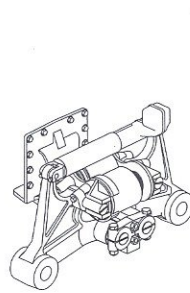
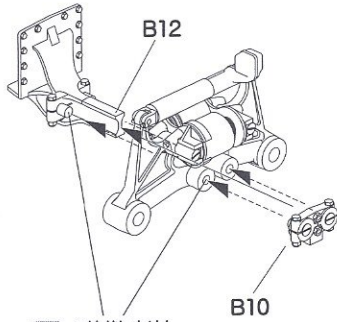
## 5 水平懸架サスペンションの組立

### Suspension assembly

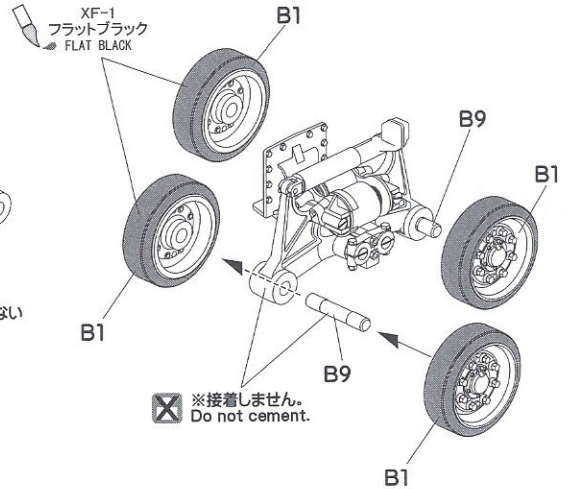
サスペンションは全部で6個組み立てます。  
可動部分に接着剤が付かないように、慎重に作業します。  
Make 6 bogies.  
Note avoid applying cement to moving parts.



① スプリングの向きに注意します。  
Note direction of spring.



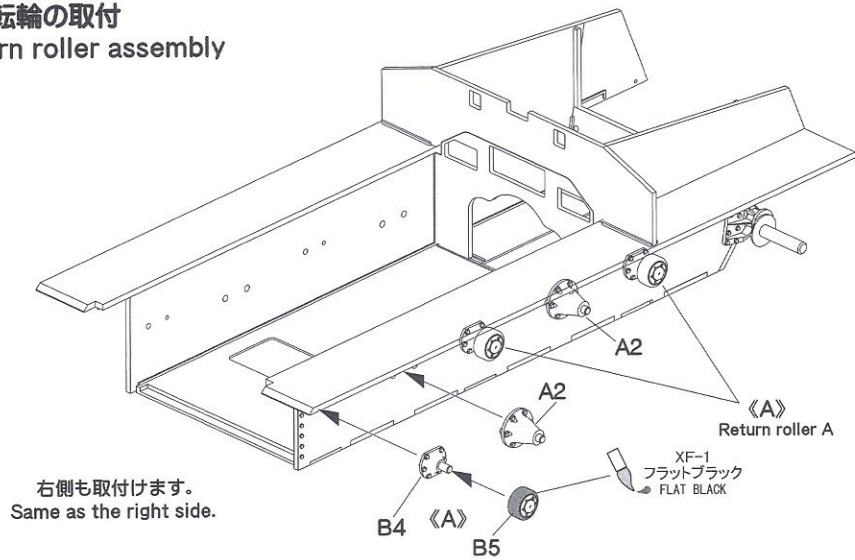
② 接着剤が乾くまで動かさないようにします。  
Until glue dries, try not to move.



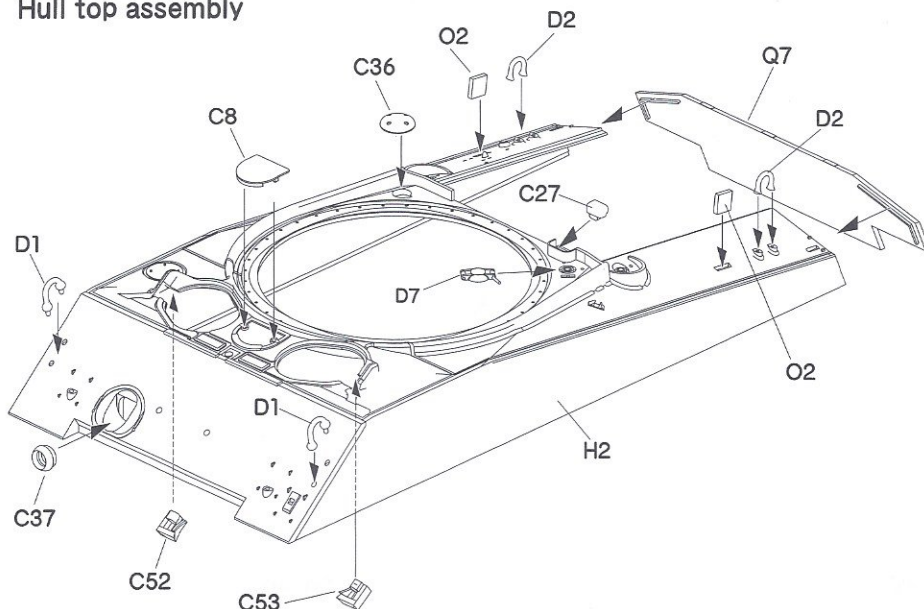
③ サスペンションアームを可動させるため、B10はB12の先端部のみに接着します。  
Suspension arm moves so apply cement to the ends of B10 and B12 only.

## 6 上部転輪の取付

### Return roller assembly



## 7 車体上部の組立 Hull top assembly



## 8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかりと  
接着してください。

Take care gluing Hull top securely.

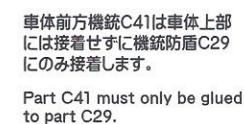
塗装例2は前方機銃マウント  
の周囲をあらかじめ白く塗っ  
ておきます。

Ex.2  
The forward gun mount  
was painted white.

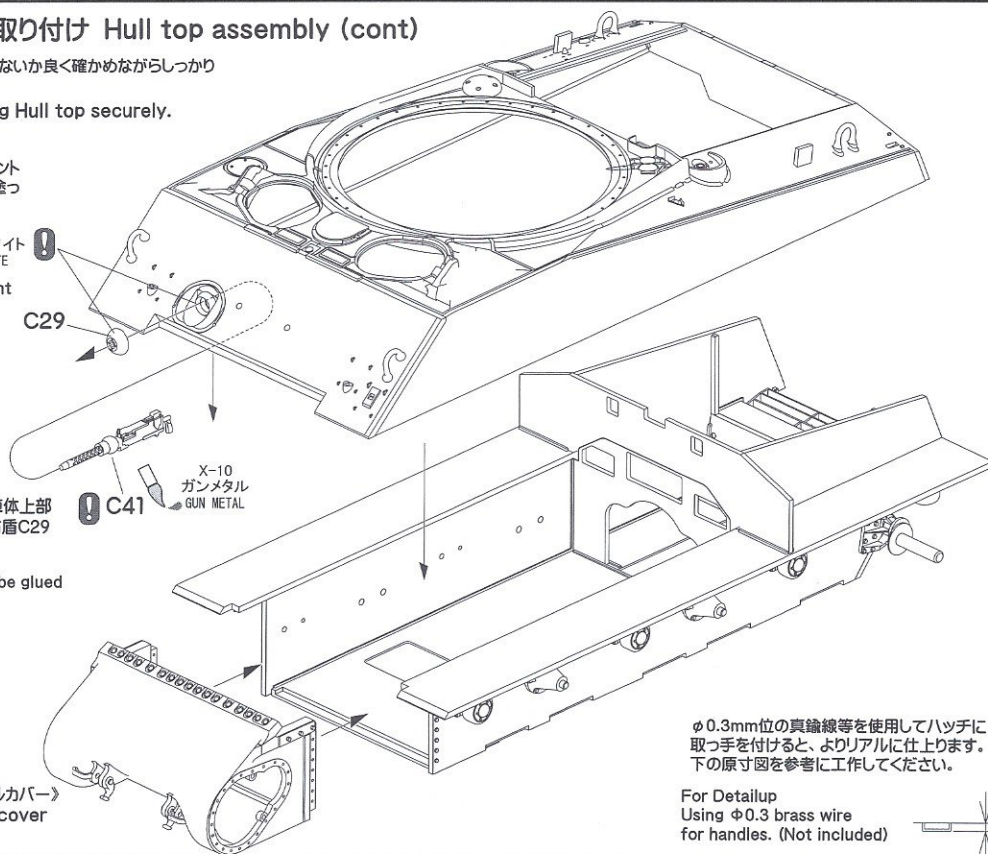


車体前方機銃C41は車体上部  
には接着せずに機銃防盾C29  
にのみ接着します。

Part C41 must only be glued  
to part C29.

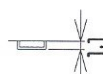


《ティファレンシャルカバー》  
Differential cover



φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに  
取っ手を付けると、よりリアルに仕上がります。  
下の原寸図を参考に工作してください。

For Detailup  
Using φ0.3 brass wire  
for handles. (Not included)

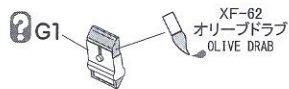


## 9 ドライバースハッチの組立

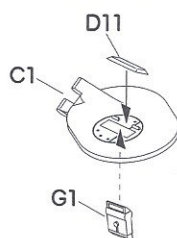
### Drivers hatch assembly Hatch reverse side assembly

ペリスコープ (G1) は透明か色付きの  
部品を選びます。

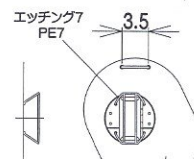
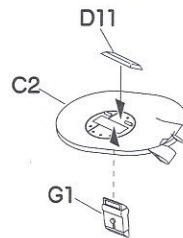
The periscope (G1) is a clear part.  
Paint as per the color annex



《右 Right》



《左 Left》



エッチング7を図のように  
曲げてペリスコープ基部  
の上に取り付けます。

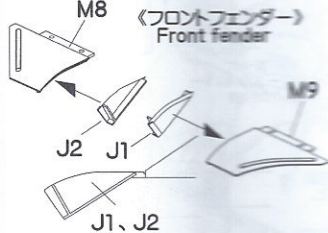
PE7 is bent as per drawing.

Scale=1/1

## 10 車体上部部品の取り付け

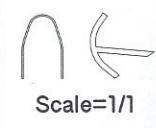
### Hull upper part installation

※印の部品はテカールを貼ってから取り付けます。  
※please affix decals then attach parts.



《フロントフェンダー側面図》  
Note: J1, J2 position

② 《ライトガード》  
PE2は下図を参考に曲げて使用します。  
PE2 is bent as per drawing.

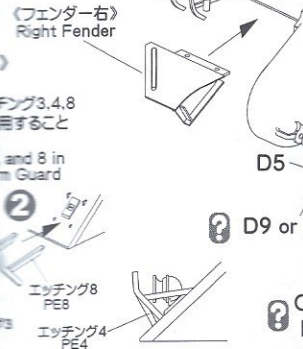


Scale=1/1

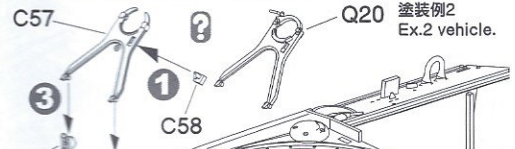
《ホーンガード》  
Horn Guard  
ホーンガードはエッチング3,4,8を組立てたものを使用することもあります。  
Construct PE 3,4, and 8 in order to make Horn Guard



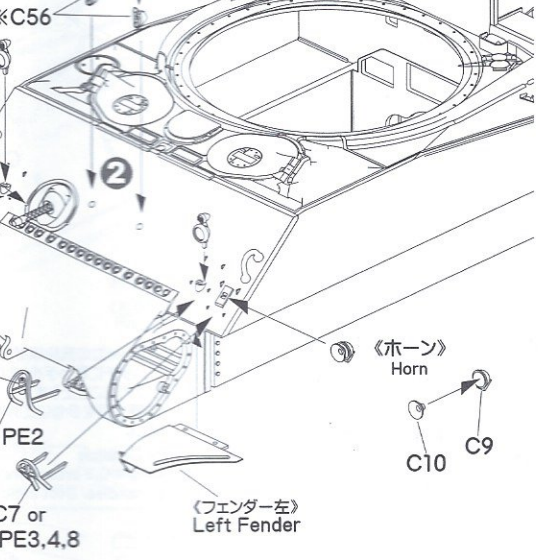
《ヘッドライト》  
Headlight  
2個作ります。  
Make 2  
X-11 クロームシルバー SILVER



塗装例1はC57かQ20のどちらかを選びます。  
Ex.1. use either option C57 or Q20.



塗装例2  
Ex.2 vehicle.

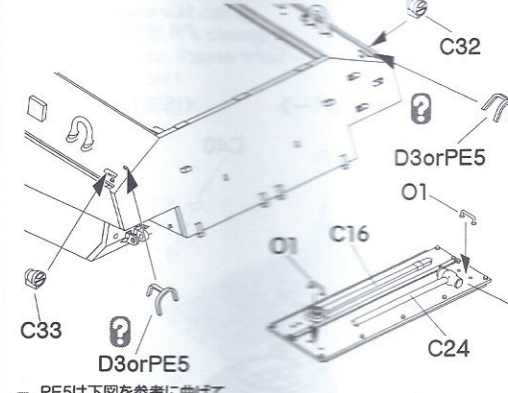


## 11 エンジンデッキの取り付け

### Engine deck Installation

X-7 レッド RED  
左側 (C33) のみ Left (C33) only  
① テールライト (C32・C33) は左右に注意します。  
Pay attention to distinguish left part (C33) from right part (C32).

② エンジンデッキは標準型か改修型を選んで組み立てます。  
Use either option Standard type or Improved Type.



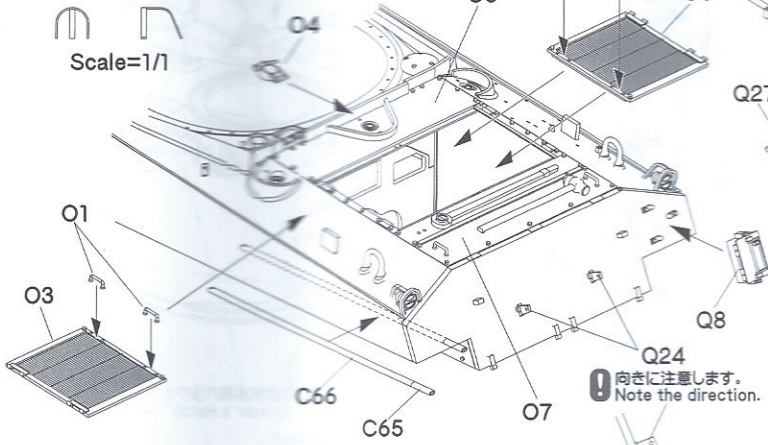
③ PE5は下図を参考に曲げて使用します。  
PE5 is bent as per drawing.



Scale=1/1

《標準型》  
Standard type

《改修型》  
Improved Type

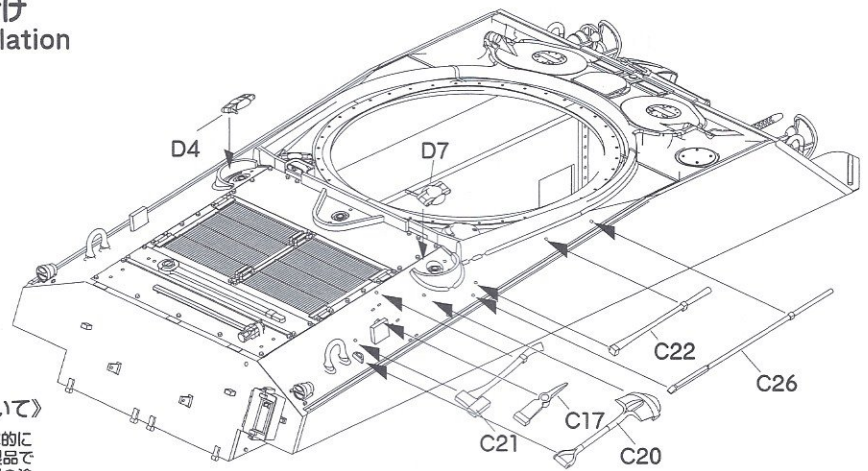


④ ボルトを2か所カットします。  
Shave off these two bolts.

⑤ 向きに注意します。  
Note the direction.

Scale=1/1

## 12 車体右側部品の取り付け Hull right side installation

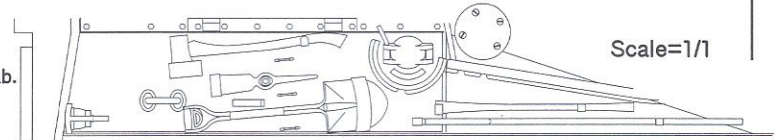


### 《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色がはげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

### Hull Accessories Painting Guide

American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

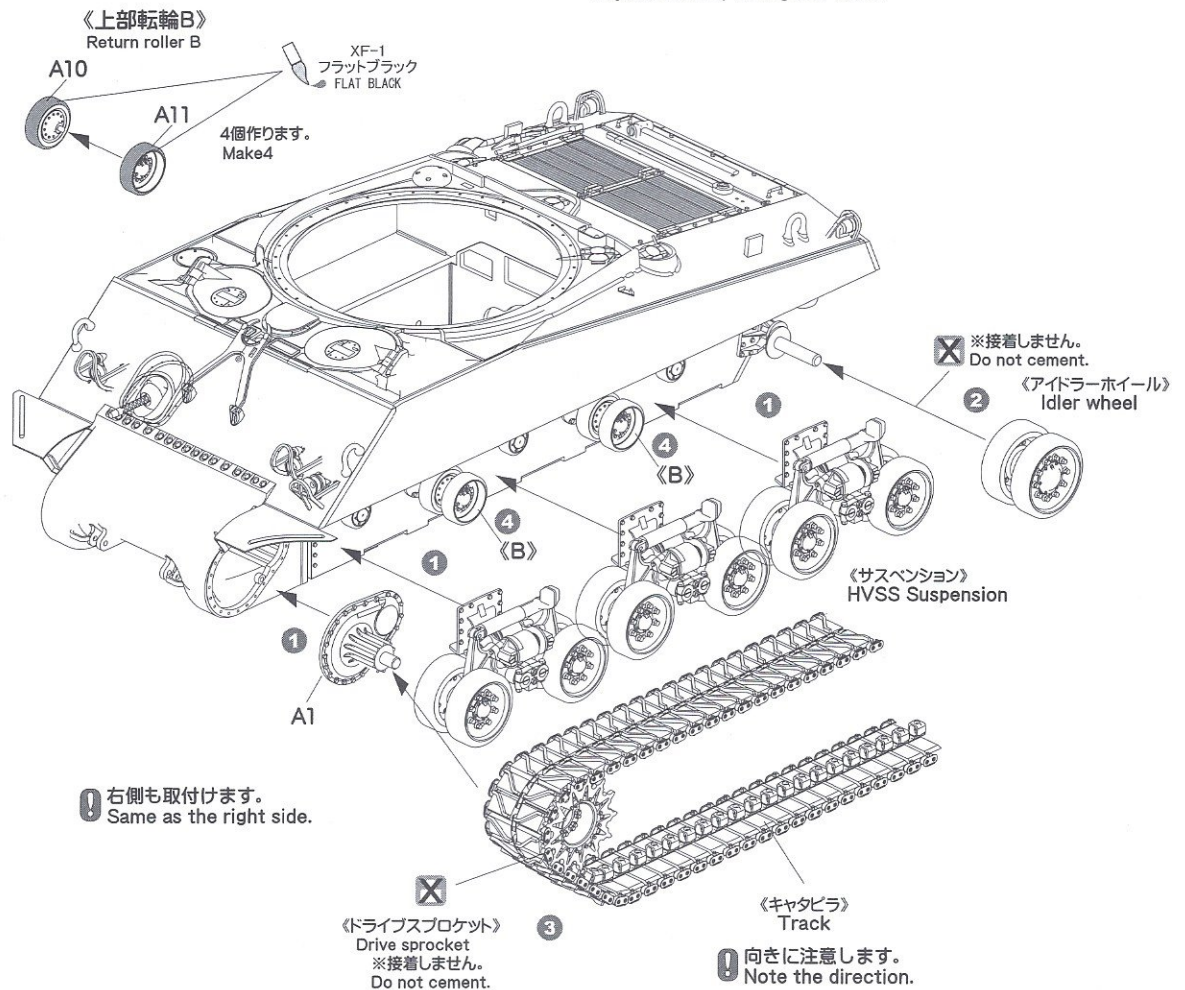


## 13 キャタピラの取り付け HVSS Suspension

車体にファイナルドライブ(A1)とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブ sprocket にキャタピラを巻きつけ、一緒に車体に取り付けます。キャタピラを取付けてから上部転輪Bを車体に取り付け、よく乾燥させます。最後にアイドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。

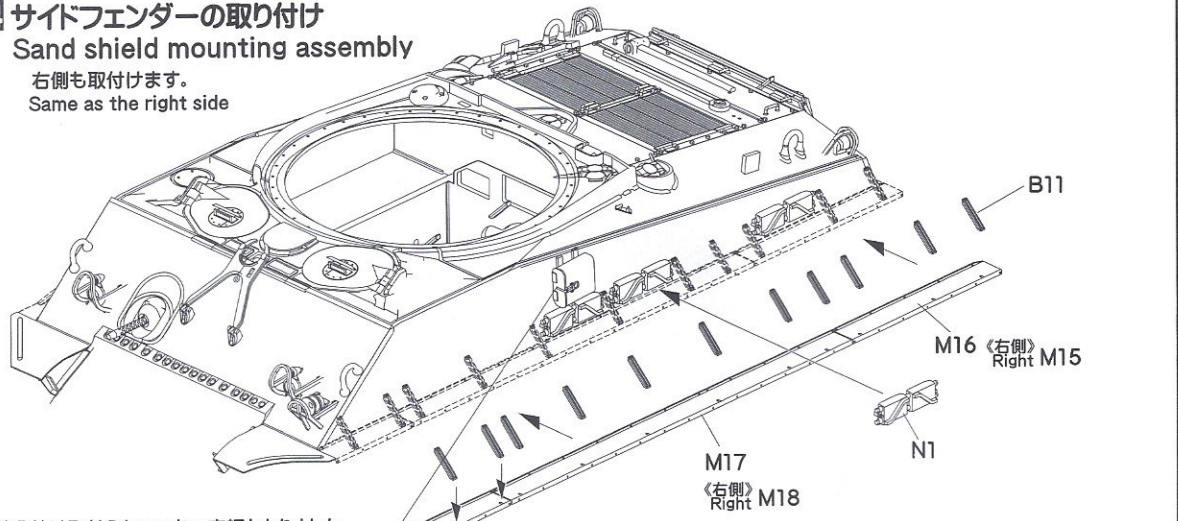
### 《Assemble steps 1 to 4》

1. Install A1 and bogies. Allow cement to dry.
2. Install idler wheel.
3. Wrap track around drive sprocket and attach.
4. Install return rollers. Allow to dry well. Adjust tension by turning idler wheel.

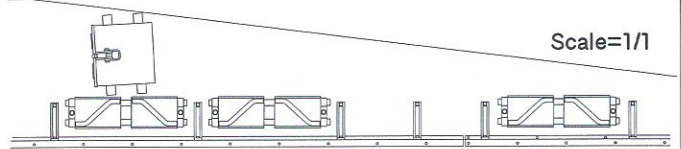


**14 サイドフェンダーの取り付け**  
**Sand shield mounting assembly**

右側も取付けます。  
 Same as the right side

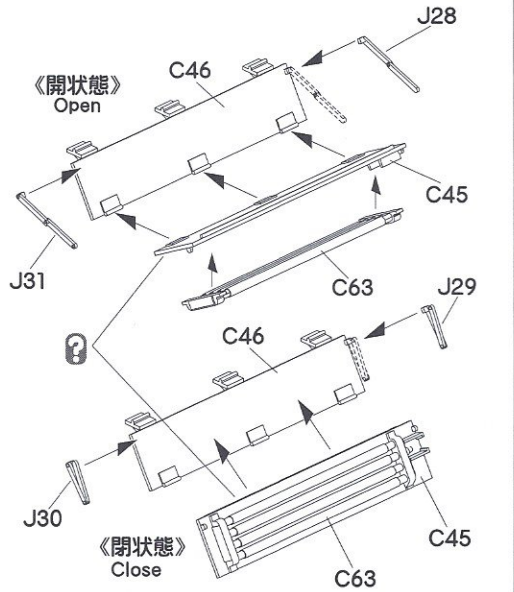
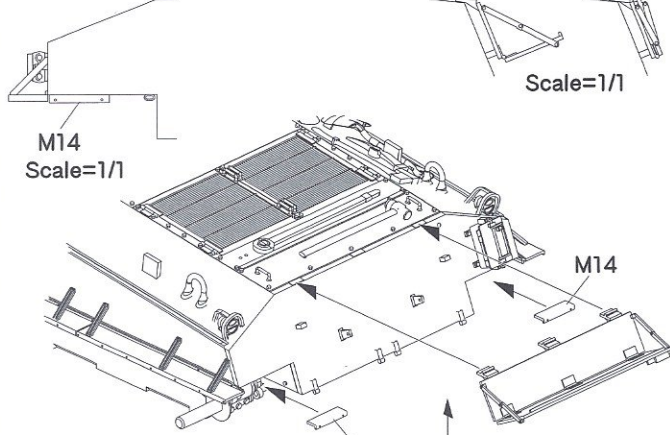
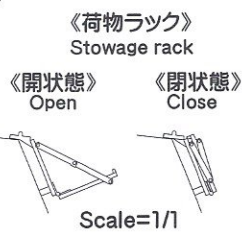


② 救急箱は取付られていない車輛もありました。  
 このキットではマーク例2のみ取付けます。《救急箱》  
 First aid box not always mounted. 《救急箱》  
 Ex.1 has no first aid box.

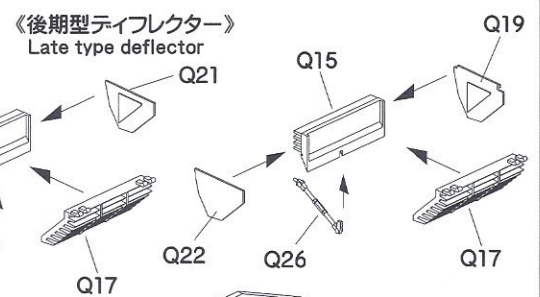


**15 リヤパネル部品の取り付け**  
**Rear panel attachments.**

② 荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立てます。  
 各部品的位置を仮組みでよく確認してください。  
 Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.

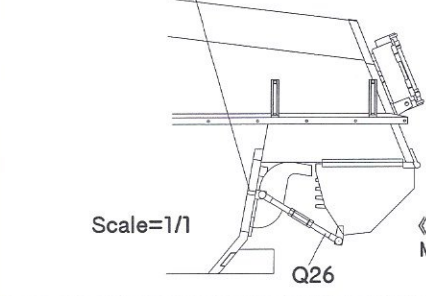


② 4で開口した穴にはめます。  
 Install using holes made in section 4

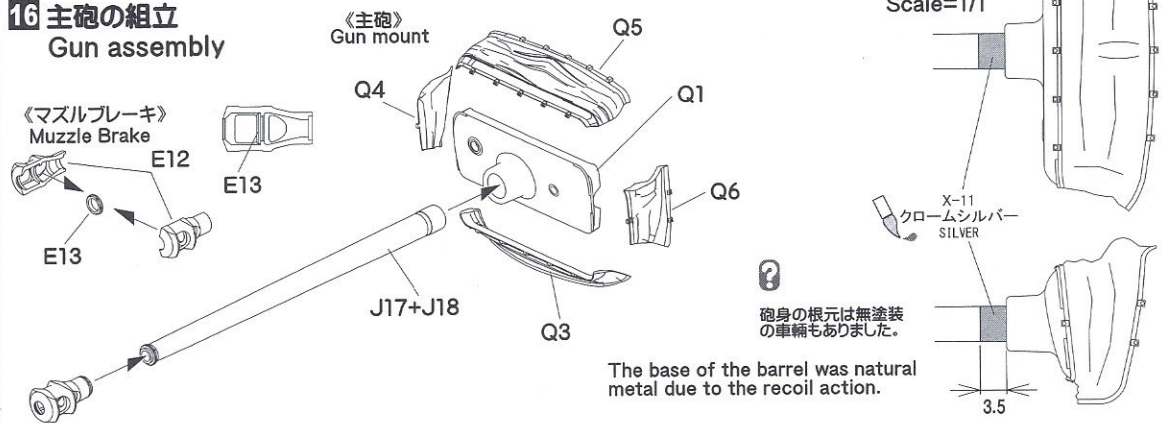


Scale=1/1

《ティフレクター取付状態》  
 Mount deflector as shown.

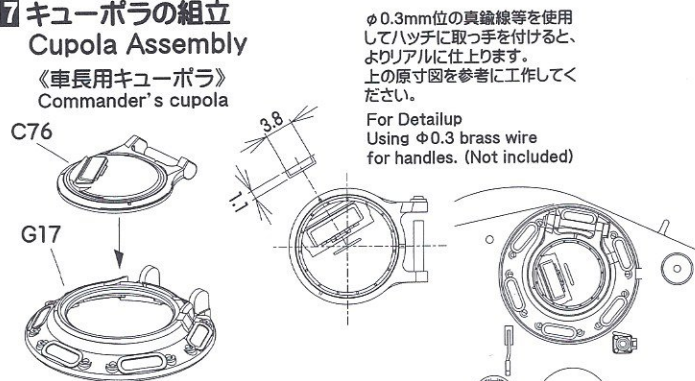


## 16 主砲の組立 Gun assembly



## 17 キューポラの組立 Cupola Assembly

《車長用キューポラ》  
Commander's cupola



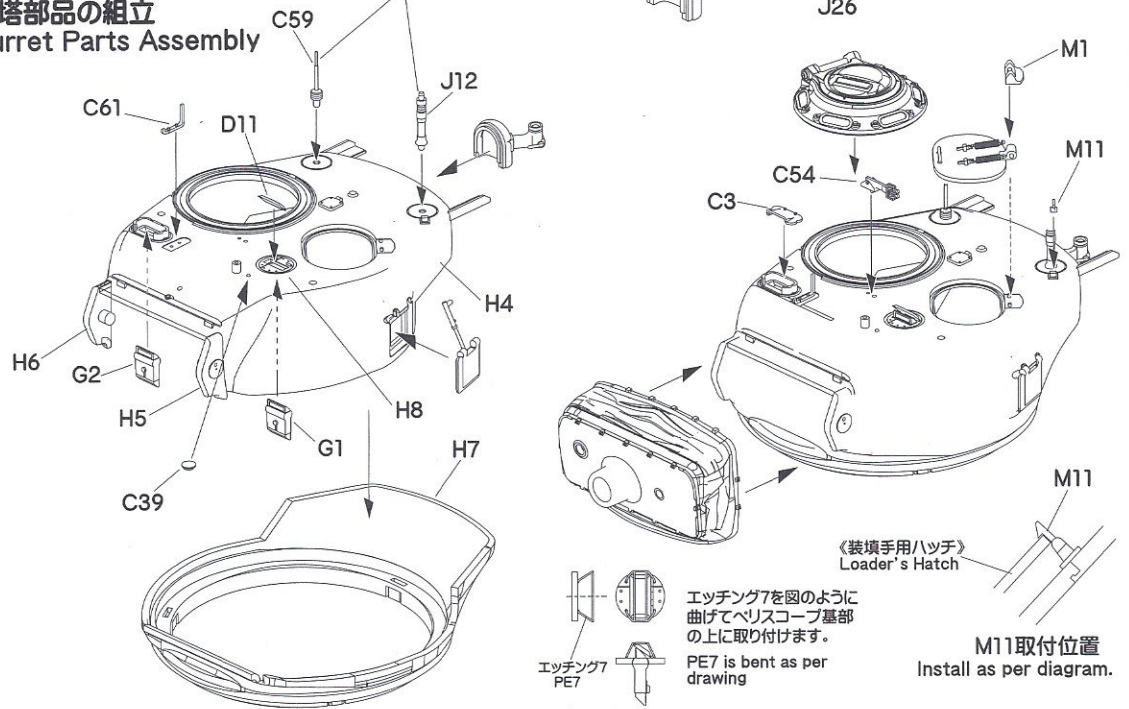
表側はビジョンブロックの部分を塗り残して車体色で塗装します。そのままでは砲塔との合わせ部分が見えてしまうので、裏側はグレーなどで塗装するとよいでしょう。

Paint the cupola body color except for the vision blocks. Paint the inside sides of the vision blocks grey but not the actual vision block which remains clear.

《キューポラ取付角度》  
Install cupola as per diagram.

左右どちらにも取付けできます。  
Both can be mounted on either side.

## 18 砲塔部品の組立 Turret Parts Assembly



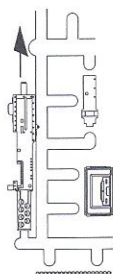


## 19 M2重機関銃の組立 M2 Machine Gun Assembly

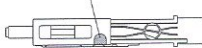
このページでは砲塔上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。  
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。  
This page instruction assembles M2 machine gun.

### A 機銃本体の組立 Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。  
Pull the machine gun itself from the runner.



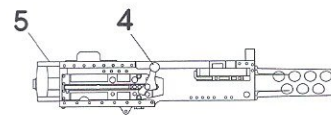
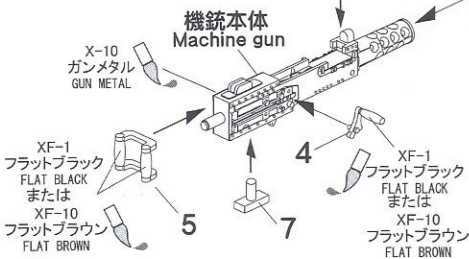
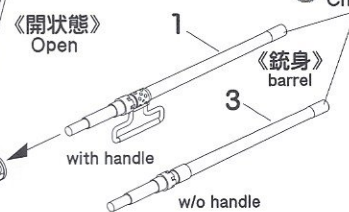
ゲートの跡を整形します。  
Gate mark fairing stripe



② どちらか選びます。  
Choose one



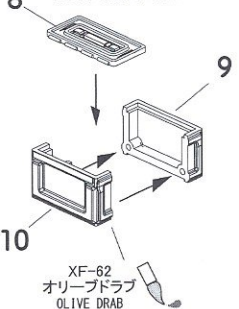
② どちらか選びます。  
Choose one



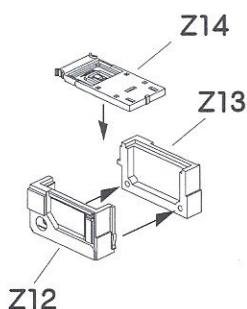
取付位置詳細図  
Installation position detail

### B 弾薬箱の組立 Ammunition box assembly

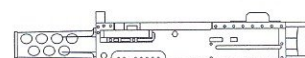
《100発用弾薬箱》  
100 round ammo box



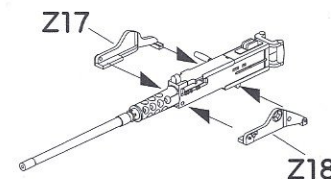
《弾薬箱B》  
ammo box B



### C 揺架の取付 Cradle installation.



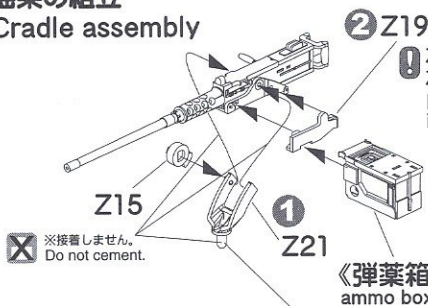
揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。  
Shave off rivet pattern.



### D 揺架の組立 Cradle assembly

② Z19を取り付ける前にZ21を取付けます。  
Install Z19 before installing Z21.

※接着しません。  
Do not cement.



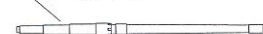
《弾薬箱B》  
ammo box B

Z21の軸が緩い場合はペンチ等で軽く潰して固さを調整します。

If Z21 axis is loose adjust the stiffness by crushing lightly with pliers

《予備銃身》 本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。

Spare barrel Please note spare barrel differs from the main barrel



XF-56  
メタリックグレイ  
METALLIC GRAY

XF-6  
銅  
COPPER

弾帯はお湯に漬けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。

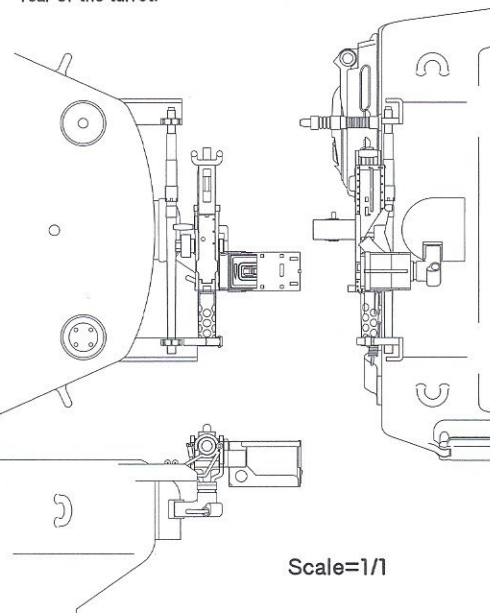
X-12  
ゴールドリーフ  
GOLD

《弾帯》

Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

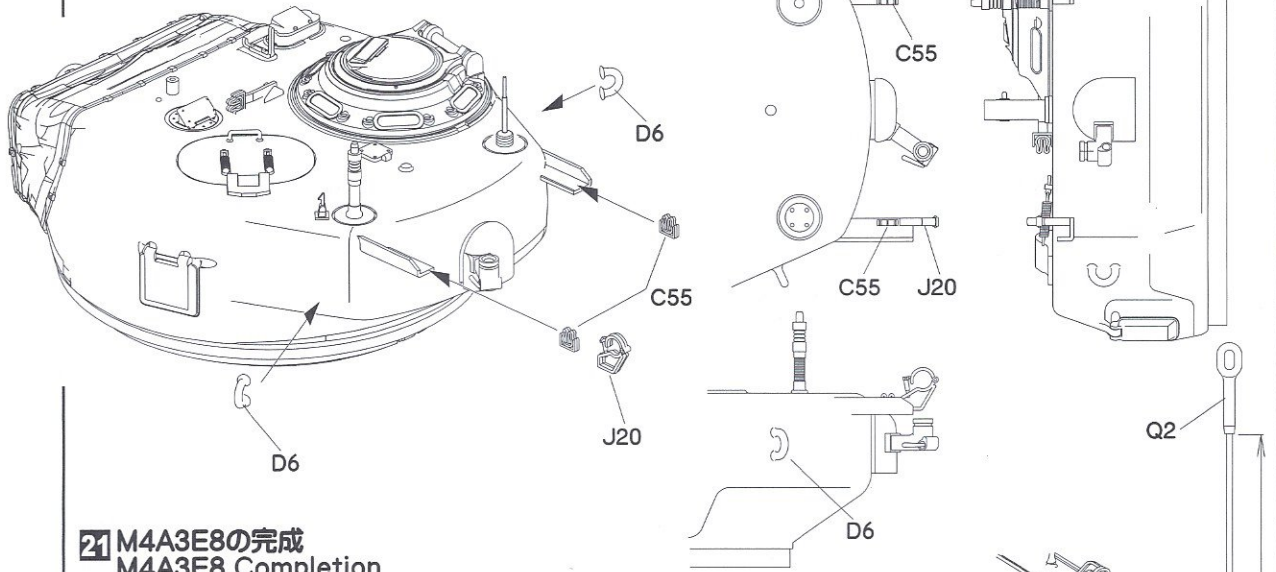
### 《参考》 Reference

機銃は僅かな工作で砲塔後部に収納することもできます。  
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.



Scale=1/1

**20 砲塔後部の組み立て**  
Assembling the rear turret



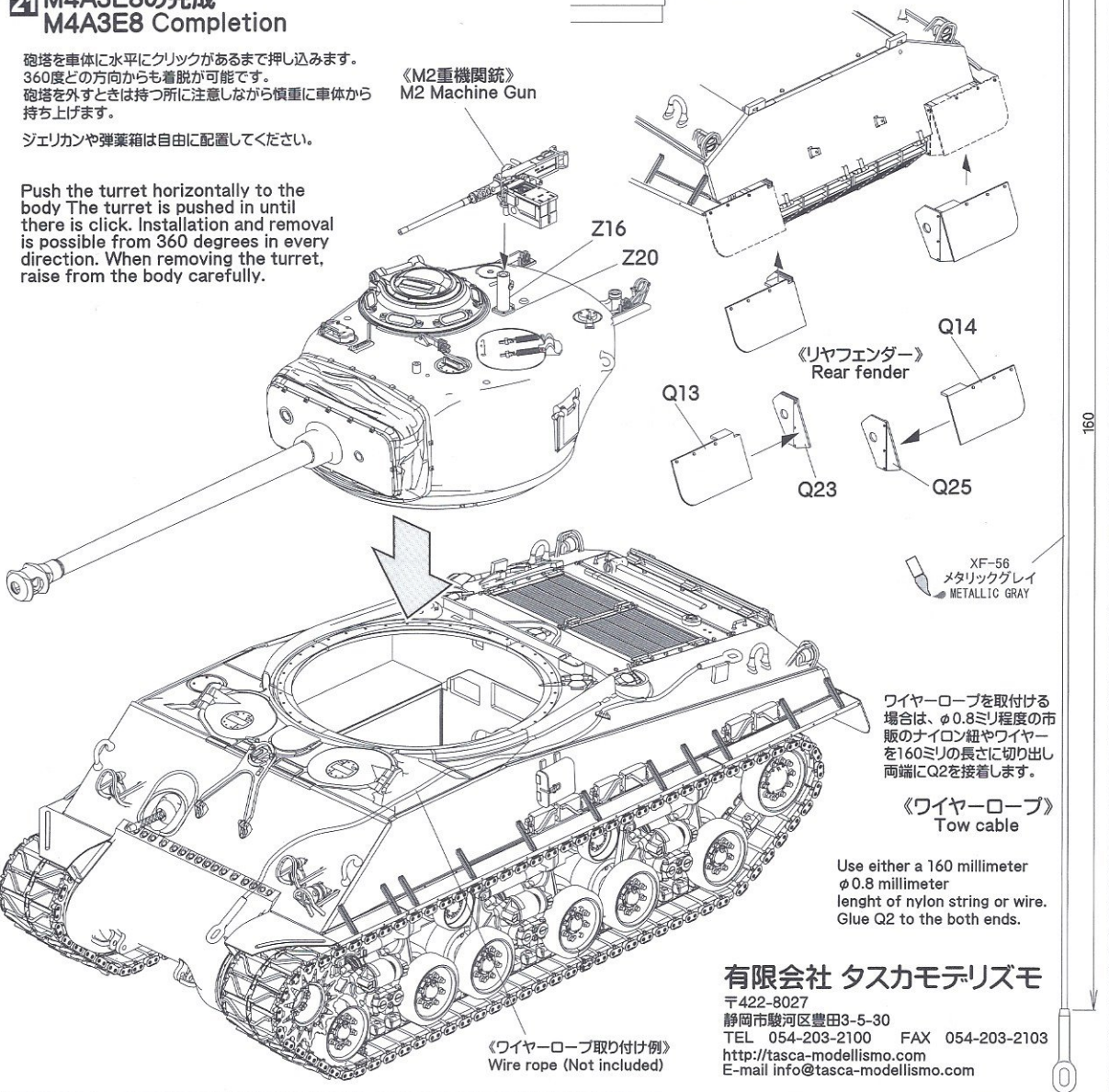
**21 M4A3E8の完成**  
M4A3E8 Completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。  
360度どの方向からも着脱が可能です。  
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。

Push the turret horizontally to the body. The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.

《M2重機関銃》  
M2 Machine Gun



ワイヤーロープを取付ける場合は、φ0.8ミリ程度の市販のナイロン紐やワイヤーを160ミリの長さで切り出し両端にQ2を接着します。

《ワイヤーロープ》  
Tow cable

Use either a 160 millimeter φ0.8 millimeter length of nylon string or wire. Glue Q2 to the both ends.

《ワイヤーロープ取り付け例》  
Wire rope (Not included)

**有限会社 タスカモデリズム**

〒422-8027  
静岡県駿河区豊田3-5-30  
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103  
http://tasca-modellismo.com  
E-mail info@tasca-modellismo.com

# 1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman "Easy Eight" (KOREAN WAR)

## 1/35 アメリカ中戦車M4A3E8シャーマン“イージーエイト” **tasca**

朝鮮戦争 35-023 塗装説明書

### 組み立てを始める前にお読みください。 Read before construction

この説明書は35-023 1/35 アメリカ中戦車M4A3E8シャーマン“イージーエイト”・朝鮮戦争の追加説明書です。組み立てに関しては、別紙のアメリカ中戦車M4A3E8シャーマン“イージーエイト”・朝鮮戦争の組み立て説明書とあわせてご覧頂く必要があります。あらかじめそれぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てて入ってください。

This instruction manual is for the 35-023 1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman "Easy Eight" (KOREAN WAR). It is an additional instruction manual for the 1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman "Easy Eight" (KOREAN WAR). In regards to assembly, please read this annex carefully and adjust the instruction manual accordingly.

### M4A3E8シャーマン“イージーエイト”について

第二次大戦初頭の1942年に登場したM4シャーマンは戦争の推移とともに次第に改良が加えられ、名実ともに連合軍の主力戦車として活躍しました。主砲は当初の75mm砲から戦車戦闘向きの76mm砲に換えられ、車体も対弾性能と量産性に優れた新型車体となり、改良のたびに増加した重量の増加に対してはそれまでの垂直懸架サスペンション(VVSS)に代わって幅広のキャタピラを有する水平懸架サスペンション(HVSS)が導入されました。その結果、車体のシルエットは一回り大きくなり、高い信頼性と相まって、第二次大戦末期においても当時の標準的な戦車としての性能を維持し続けることができました。戦争の推移とともに複数並行的に存在したシャーマンの各タイプは徐々に整理され、米軍ではガンソリエンジンを装備するM4、M4A1とM4A3の各タイプのみを装備することになりました。中でも対戦車戦闘向けとして76mm砲を装備するシャーマンはM4A1とM4A3に限定され、米軍ではHVSSの76mm砲搭載型としてはM4A3のみが使用されました。これは主力戦車として後継がM26パーシングに移行しつつあり、戦争の趨勢が見えてきて戦車の総数に余裕が出てきたためでもありました。HVSSを採用した76mm砲搭載型M4A3は正式にはM4A3(76)HVSSと呼ばれましたが、HVSS装備のシャーマンの開発名のE8から一般にM4A3E8“イージーエイト”の通称で呼ばれました。初期のM4A3E8はキャタピラにシングルピン・シングルブロック式のT66を装備していましたが、強度上の問題からダブルピン・ダブル

ブロック式のT80に次第に変更されていきました。戦争の終了とともにシャーマンの生産も終了しましたが、依然として米軍の主力はM4A3E8が占めていました。戦後も使用され続けたM4A3E8は車体の後部に車内と外部との通話用電話ボックス、救急箱などがとりつけられ、防盾基部には防水用のキャンバスカバーが標準装備されました。また一部には車体後部のエンジンテッキのヒンジを大型のものに変更された車輛もありました。

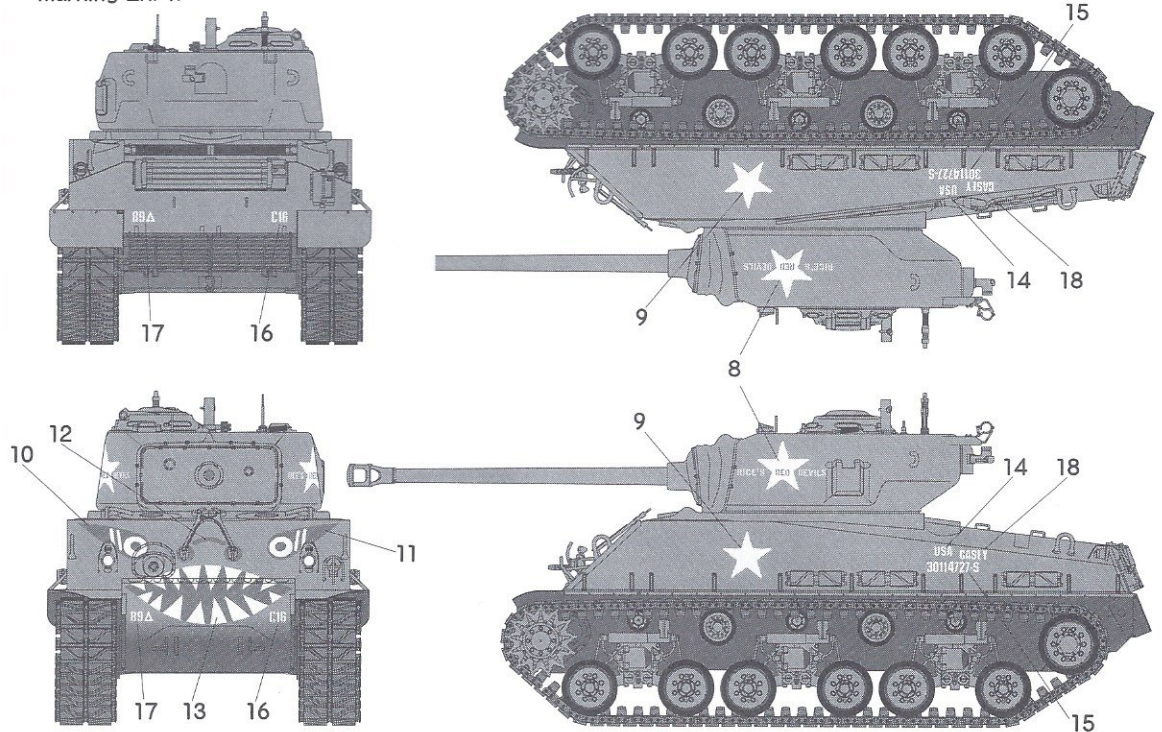
1950年6月25日に勃発した朝鮮戦争では、開戦時に朝鮮半島に配備されていたM4A3E8はありませんでしたが、7月には釜山の橋頭堡に陸揚げされ、7月下旬に共産軍に対して最初の戦闘に投入されました。山がちな朝鮮半島の地形を反映し、戦車部隊は大隊単位で歩兵師団に配属され、歩兵支援と対戦車戦闘に充てられました。1950年9月に仁川に国連軍が上陸すると形成は逆転し、中国義勇軍の参戦ののちに共産側はソウル近郊の漢江沿いに防衛線を敷き、国連軍と対峙しました。この頃、国連軍内では「迷信深い中国軍は動物、とりわけ猫族を恐れる」との情報が広まり、戦車の前面に敵を威嚇するための動物の顔を大きく描くことが流行したのです。1951年3月からのソウル奪還を目指したリッパ作戦前後にその流行はピークを迎えました。その後、朝鮮半島での戦闘は38度線を境に膠着状態となり、1953年7月27日に休戦となりました。M4A3E8は共産側のT34/85を相手に奮戦しましたが、朝鮮戦争の終結とともに第一線から退くことになったのです。

### 塗装例 1

第25歩兵師団 第89戦車大隊 C中隊 1951年3月 漢江

C Company, 89th Tank Battalion, 25th Infantry Division, Han River, March 1951.

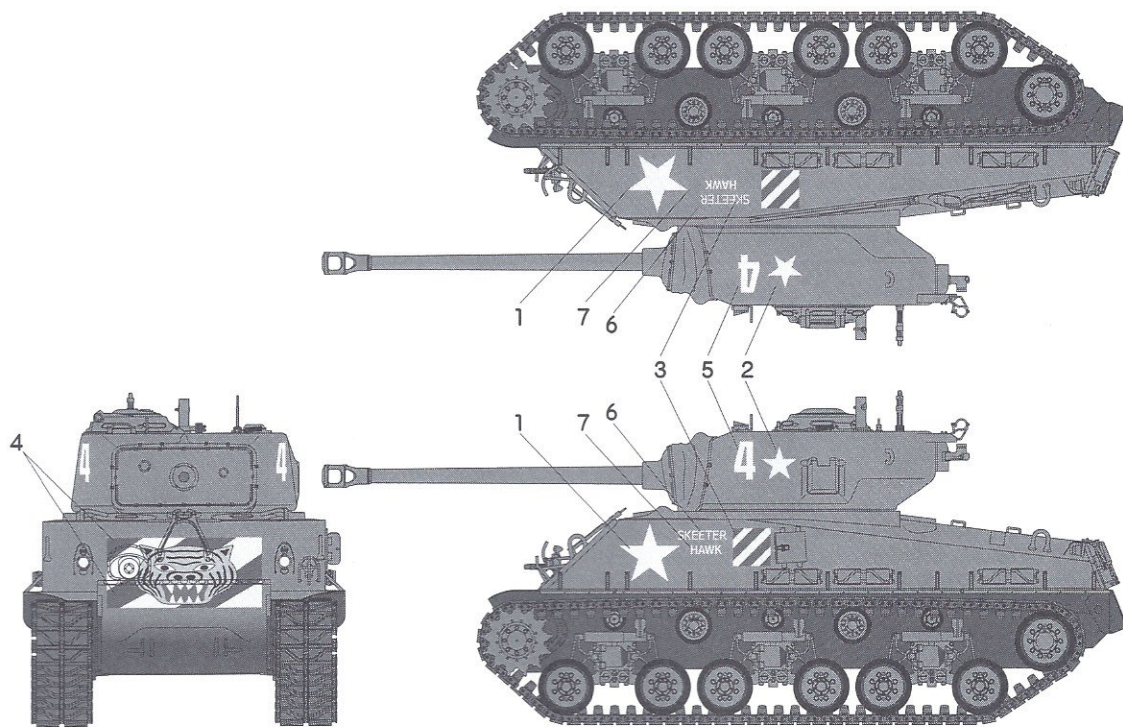
Marking Ex. 1.



## 塗装例 2

第3歩兵師団 第64戦車大隊 1951年2月 漢江  
64th Tank Battalion, 3rd Infantry Division, Han River, February 1951.

Marking Ex. 2.



## 塗装とマーキング

## CAMOUFLAGE & MARKING

### ■第二次大戦後のM4A3E8 “イージーエイト”の塗装について

第二次大戦のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。戦後もオリーブドラブの基本色はそのまま使用され、1950年勃発の朝鮮戦争時においても多くの車輛がオリーブドラブの単色塗装でした。朝鮮戦争後半にはアース系のパターンの大きな2色迷彩が施された車輛もありましたが、一部の車輛に限られていたようです。また冬季の場合も第二次大戦中などにみられた白色塗料による冬季迷彩もあまり行われなかったようです。

### ■カラーナンバー対応表 ※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR	GS1クレオス Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドブリーフ	⑨ ゴールド
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-2 フラットホワイト	62 つや消しホワイト
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	131 赤褐色
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+30フラットベース
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

### 《不要部品》 Not used.

C部品 11-15,18,19,23,25,28,30,31,34,35,  
42-44,48-51,60,69-73,75  
D部品 8,13,10  
E部品 2-6  
G部品 4-13,15,16  
J部品 3,6,7-10,15,19,25,23,24,32,33  
O部品 10,11,15-18  
P部品 (ポリキャップ poly cap) 1  
Z部品 22-29  
エッチング (PE) 1

## APPLYING DECALS

### ■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつずらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

### ■アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

- 電話/FAXでの受付 TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103
- メールでの受付 info@tasca-modellismo.com
- お手紙での受付 / 部品代金の送付先 〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30 有限会社タスカモテリズモ 部品請求係

## 有限会社 タスカモテリズモ

〒422-8027  
静岡県駿河区豊田3-5-30  
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103  
http://www.tasca-modellismo.com  
E-mail info@tasca-modellismo.com

© 2011 tasca MADE IN JAPAN